

ほほえみ

発行：社会福祉法人
東御市社会福祉協議会
〒389-0502 東御市鞍掛197
☎0268-62-4455 (代表)
http://www.tomisyakyo.or.jp
印刷：グリーン美術出版

～人とひとが福祉でつながる街づくり～

特集

もし、災害が起きたら…

保存版



台風19号の災害で社協職員も支援に入りました(長野市赤沼)

内容

◎防災特集

- 災害時 地域で支えあうには
- いざという時のためにできる防災対策
- 災害ボランティアセンターとは

★金婚祝賀式・敬老祝賀訪問

★月間スナップ・まいさほ東御だより

★上小ブロックボランティアフォーラム



特集 災害時、地域で支えあうには

～ 非常時の「自助・共助・公助」の観点から探る ～

東御市社会福祉協議会では、住民の皆さまが自助・共助の意識を共有できる体制づくりを応援しています。

<p>その1.〔自助〕</p> <p>自らの命を自らが守ることを指し、普段から災害に備えて物資の備蓄や、自身で状況を判断し適切な行動を行うことなどが挙げられます。</p> 	<p>その2.〔共助〕</p> <p>近隣が互いに助け合うことを指し、高齢者、障がい者、乳幼児などの要配慮者の避難誘導や要救護者の救出活動などが挙げられます。</p> 	<p>その3.〔公助〕</p> <p>行政機関が実施する公的な支援を指し、災害発生に備えた啓発・準備・整備や、発災時に行う情報提供や避難所運営などの災害対応などが挙げられます。</p> 
---	---	---

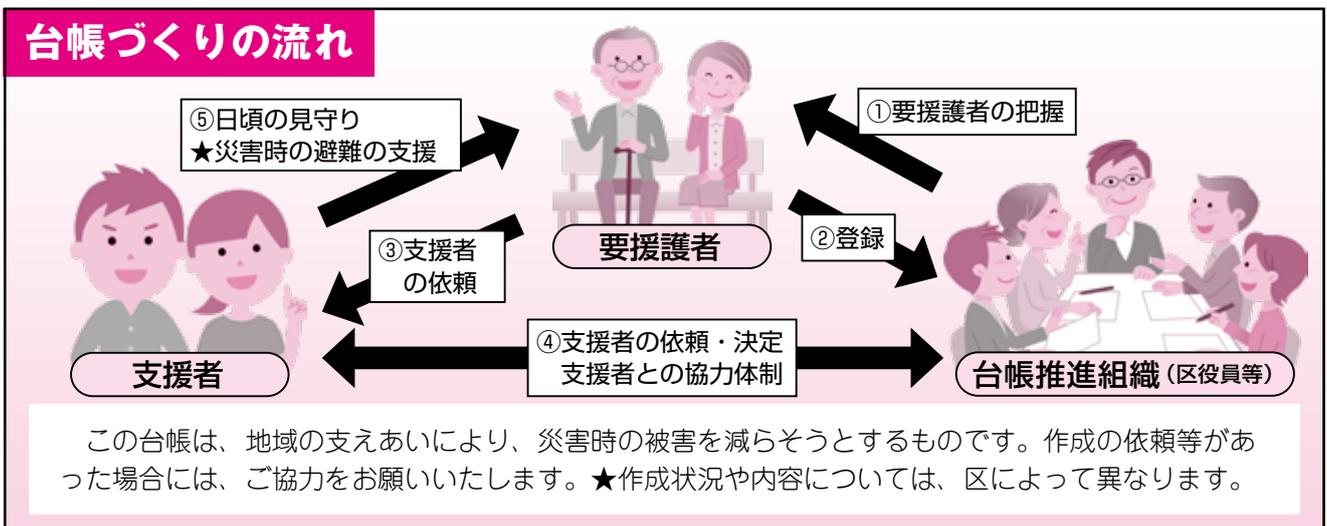
災害発生時には、これらを組み合わせて対応することが求められます。日頃から **防災意識** を高めしておくことなども〔自助〕のひとつです。また **地域で助け合い**、安否確認などを行いながら、行政などから発信される **情報に注目** し、必要に応じて **避難所などへ移動** を行いましょう。

地域での日常的な取り組みが **命を守る行動** となります。

地域の安否確認・避難誘導を助ける **災害時支えあい台帳** とは

始まっています
『**災害時支えあい台帳**』による支えあいの仕組みづくり

近年、各地で自然災害が発生し、高齢者や障がい者などが相次いで被災されており、災害に対する支援体制の見直しが行われています。この台帳は、災害時に支援を要する〔①要援護者〕とその方を支える〔②支援者〕を区で把握し、安否確認や避難支援に役立てるものです。



災害時は、防災の心得を活かし、様々な仕組みを活用して乗り切ることが大切です。

いざという時のために 家庭でできる防災対策

10月12日の台風19号は、地域に甚大な被害をもたらしました。被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。

災害はいつ起きるかわかりません。災害が発生しても落ち着いた行動が取れるように日ごろから災害時の心構えを持っておきましょう。

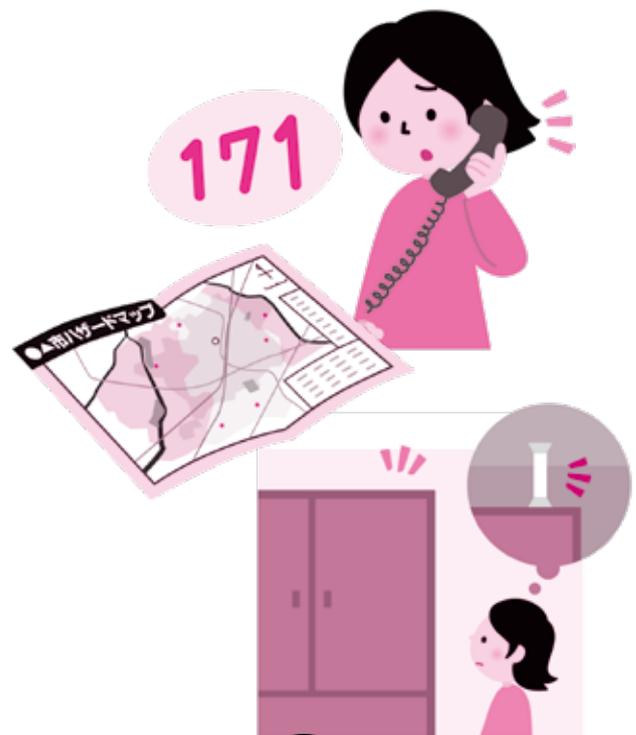
今回の『ほほえみ』では「いざという時の災害」に備えて、一般的に広報されている家庭でできる「防災対策」の一端を紹介します。「日ごろの備えは被害を最小限に防ぐ」と言われています。

家庭でできる防災対策を参考にいただき、ぜひ「いつもの暮らし」に「防災対策」を取り入れていきましょう。

災害に備えて、家庭で取り組める主な対策を紹介します。

○家族の連絡方法・連絡先を確認しておきましょう

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、お互いの安否が確認できるよう、日ごろから安否確認の方法や集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。



○避難場所・避難経路を確認しておきましょう

災害が起きた時に慌てずに避難するためにも、東御市のハザードマップで避難場所・避難経路を事前に確認しておきましょう。

○わが家の安全を確認しておきましょう

万が一、倒れてきたら危ない向きの家具はないかなど、日ごろから確認しておきましょう。また、手の届くところに「防災グッズ」も備えておきましょう。

○非常持ち出し備品を確認しておきましょう

非常時に持ち出すべきものを、あらかじめリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



○家庭内での備蓄品を確認しておきましょう

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。



災害ボランティアセンターとは??

“災害ボラセン”
との
上手なお付き合い

災害ボランティアは、災害が発生した地域で、復興の支援を行うボランティアをいい、その内容は災害の種類によって、家の片づけや泥かき、支援物資を届ける活動、話し相手など、多岐にわたります。

もしも**災害ボランティア**を**依頼**することになったら…

大規模災害が発生し、復興に向けた支援が必要と判断された場合、行政や社会福祉協議会、ボランティアなどが協力し、「災害ボランティアセンター（災害ボラセン）」の立ち上げ・運営が行われます。依頼の流れなどは下記のとおり。



依頼

ボランティアの受け付け窓口
にボランティアの依頼を行います。
何をお願いすればいいかわからない
など、困ったことがあればその
ままセンターに相談してみましょう。
ただし、危険な作業などは受
けられない場合があります。



情報収集

まず災害ボランティアセンター
の設置状況を知ることや、その連
絡先、自身の被災状況、ボランティ
アへお願いしたいことを簡単に整
理することから始めましょう。



支援を受ける

ボランティアの調整がつくと、
ボランティアによる支援を受けら
れます。派遣されたボランティア
には、依頼したい事項を直接伝え
ましょう。

災害ボランティアとして**活動**する時の**心得**

★まずは正確な情報収集

★ボランティア保険は必ず加入

万が一の際に補償あり。
☆被災地の負担軽減のため、
出発地の社会福祉協議会で加入。



★自己完結が基本

交通手段、宿泊施設、食事などは自分で準備。
依頼者の方には「ボランティアの食事の手
配は必要ない」ことなども伝えられます。

★危険な仕事は無理に引き受けない

無理せず、健康で継続できる活動を意識。



★住民の方の心情へ配慮

被災地が住民の方々の思い入れある生活場
所という意識を持ち、言葉づかいや物の扱
いなどには十分に配慮。



必要なら
ヘルメット

軍手 or
皮手袋

作業着・
動きやすい
服装

運動靴 or
長靴



〔災害ボラ装備例〕

そのほか、状況に応じて…
・スコップ ・ゴーグル
・ライト ・マスク などなど

金婚祝賀式・敬老祝賀訪問

9月20日、東御市、社会福祉協議会、高齢者クラブ連合会の共催による金婚祝賀式が中央公民館で開催され、35組の夫婦がめでたく金婚式を迎えられ、慶祝状が贈られました。また、9月25日、26日には米寿（88歳）、白寿（99歳）、百寿（100歳）を迎えられた皆さんを、花岡利夫市長と小林峯雄社協会長が訪問し、記念品を贈りお祝いしました。今年は市内で203人が米寿、10人が白寿、9人が百歳を迎えられています。



▲祝賀式の様子



▲お祝いに踊りを披露されました

第1回 とうみ男の遊び塾

9月18日、総合福祉センターで第1回とうみ男の遊び塾「男の焼き芋塾～芋の旨い焼き加減を学ぶ～」が開催されました。今回は13人が炭火を囲み、安納芋や紅芋、シルクスweetなど芋の種類や、焼き方の違いを楽しみました。参加者は「焼き加減は難しかったが、とても美味しかった。味の違いも楽しめて、贅沢な想いをさせてもらった」と話していました。



▲芋をキレイに包み、炭火で焼いています

月間スナップ

長野県民パラスポーツ大会

9月29日、東御市第一体育館で第2回長野県民パラスポーツ大会が開催され、約100人が参加しました。この大会は、パラスポーツの普及・啓発を目的とした誰もが参加できる大会として、昨年度から開かれています。この日は「ボッチャ」「車椅子バスケットボール」でパラスポーツに親しまれました。参加者は「体験してみないとわからないことが多くあり、楽しみながら勉強させてもらいました」と話しました。



▲車イスバスケットにチャレンジ

赤十字災害業務用自動車を配備しました

赤十字災害業務用自動車を地区整備交付金・東御市社会福祉協議会からの助成金を受け、日赤東御市地区に配備しました。

災害時における救援物資の輸送など災害救護業務に使用するほか、平時においても福祉などの赤十字活動のために使用します。



▲引渡式で、写真うしろが配備された「セレナ」

まいさぼ便り

「まいさぼ東御」は、生活や就労に困難を抱えている方の総合相談窓口です

東御市子どもの学習・生活支援事業

～生活の自立・改善に向けて進んでいるご家庭のお子さんの育ちを応援します～

☆内 容 マンツーマンの関係性により、お子さんの学習のフォローや生活習慣習得のサポートをします。
例：高校受検のための学習指導、高校を継続できるよう学習指導、生活習慣を身に付けるための家庭科指導（料理を作る、裁縫をするなど）

☆利用対象者 まいさぼ東御で支援プランを作成した世帯のお子さん

☆実施場所：家庭、公民館など

☆実施時間：月4回（週1回）、1日2時間を上限。

☆利用料：無料



問い合わせ

東御市福祉課福祉援護係

64-8888

生活就労支援センター まいさぼ東御

75-0222

東御市社会福祉協議会ではひきこもりについての相談を受け付けています

ひきこもりとは…

学校や仕事などの社会活動に参加せず、他者との交流を避けて、半年以上にわたって家庭にとどまり続けている状態のことです。病名ではありません。（「ご家族のためのひきこもりガイドブック」引用）



まいさぼ東御ではどんなことができるの？…

○ひきこもりの状態を、本人や家族の方から相談を受け、他の専門職や機関と協力しながら、社会生活へ少しずつ戻る、居場所や働く場所を探していきます。

ご本人の歩みの
速度に合わせて
相談をします

40代男性の事例

○初回は、親族と相談に来所。約1年間、定期的な相談と社会復帰に向けた心の準備、コミュニケーションの練習、職場の見学や体験などを行いました。今は働いています。

まずは相談から…

当機関では、いつでも相談をお受けしています。本人以外にも、親族や知人の方の相談でもOKです。一人で悩まず、まずは相談ください。

「ひきこもり相談会」の案内（要予約）

日時：11月23日（土）午後2時～4時

場所：総合福祉センター1階相談室1

申し込み・問い合わせ/福祉課 福祉援護係 64-8888か

「まいさぼ東御」 75-0222へ

上小ブロックボランティアフォーラム “パラスポーツ”を楽しもう!!



9月28日、総合福祉センターで上小ブロックボランティアフォーラムが開催されました。はじめに、パラアイスホッケー元日本代表の上原大祐氏が「パラスポーツを楽しもう」と題して講演しました。その後、身体教育医学研究所所長の岡田真平氏のユニバーサルスポーツに関する活動発表を聴き、後半はボッチャの体験会を実施。未経験者も含めて、ボッチャを楽しみました。

母が滝の沢の出身という縁もあり、東御市で重度の障がいを持つ子どもたちと共に畑づくりや泥んこ遊びなどユニバーサルな社会づくりに向けた活動を行っています。また、パラスポーツの更なる普及のため、地域での体験会・講演会なども行っています。

2020年には東京でパラリンピックが開催されますが、この大会だけで終わらせることなく、継続的なパラスポーツの普及活動を行っていきます。



講師 上原大祐氏



▲ボッチャ体験会の様子

来年はいよいよ、パラリンピック!! 皆さんと一緒に盛り上がりましょう!!

赤い羽根共同募金で活躍する地域のボランティア

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金活動がはじまりました。10月中には市内で計13日間、ボランティアの皆さんに協力いただきながら、街頭募金活動を実施しました。また市内施設・店舗様に協力いただき、15カ所に募金箱を設置しました。

今年度も皆さまのご協力ありがとうございました。



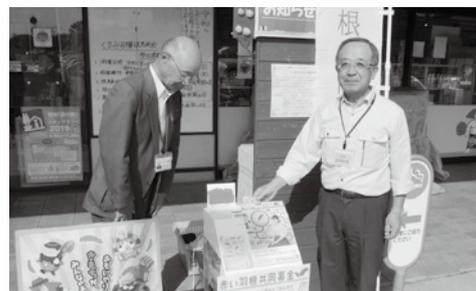
ご協力いただいた
ボランティアさん

のべ**33人**

☆ありがとうございました☆



▲街頭募金にご協力いただいたボランティアの皆さん



▲道の駅の駅長さんにもご協力いただきました

◎ 街頭募金 及び 募金箱設置 協力施設・店舗 様 (順不同) ◎

道の駅 雷電くるみの里 様 しなの鉄道 田中駅 様 ベイシア 東御店 様 東御市内 公共施設 様
 デリシア 東部店 様 やおふく 東御店 様 セブンイレブン 信州鞍掛店、東部田中店、東御和店 様
 ファミリーマート 和店 様 信州東御市振興公社 様 (ゆうふる tanaka、湯楽里館、御牧の湯、大田区休養村とうぶ、物産センター、御牧苑)

今年度も多くのご協力、ありがとうございました。

※ 戸別募金等の報告につきましては、次号(1月発行)に掲載させていただきます。

善意をありがとうございます

(9月、10月受け付け分)

- (有)フォルテ&ドンピー 様 …… 金 44,000円
- (株)ミマキエンジニアリング 様 …… 食料品
- 匿名 様 …… 食料品16品



▲(有)フォルテ&ドンピー様



ウエスをありがとうございます

(9月、10月受け付け分)

- 花づなの会 様
- 信濃教育会賛助会員上小女性会員 様
- あがたボランティア 様
- 民団東信支部婦人会 様
- 匿名 様



「令和元年台風第19号災害義援金」を募集します

令和元年台風19号により、被災された方々を支援するため、義援金を下記のとおり受け付けています。

1. 受付期間

令和2年3月31日(火)まで

2. 義援金の受付方法

(1) 口座振込

銀行名 : 八十二銀行 本店営業部

口座番号 : 普通預金 1247782

口座名義 : 日本赤十字社長野県支部 支部長 阿部守一

※八十二銀行本店又は各支店の窓口からのお振込みは手数料無料です。

(2) 募金箱設置

市役所本庁舎、総合福祉センター 1階

(3) 窓口受付

東御市社会福祉協議会

3. その他

(1) 税制上の優遇措置に関するお問い合わせは下記までお願いします。

日本赤十字社 パートナーシップ推進部
TEL : 03 - 3437 - 7081

(2) この災害義援金は日本赤十字社長野県支部から被災地の長野県に設置される災害義援金配分委員会を通じて被災者へ配分されます。

(3) その他の災害義援金については日本赤十字社長野県支部のホームページをご覧ください。

社協のヘルパーよりみなさまへ あったかいごだより No.37

こんにちはヘルパーです。

介護が必要となる原因の一つに、転倒・転落などによる骨折があります。

注意したい点は

履き物は滑りにくくサイズの合った物を使用し床はデコボコがなく、夜間などは足下を明るく障害物(電気コード・炬燵掛布団・滑りやすいマットなど)を無くし動線を確認する、などです。

十分な対策をとって、いくつになっても健康でいきいきした生活を送りましょう。



社会福祉協議会 会費へのご協力

ありがとうございました

ジャパンウインズツアー株式会社

(有)東部町コレダ土屋商会

長野木村鍍研材(株)

田楽平区 21,000円

田中区 32,000円(追加分)

金井区 2,000円(追加分)(順不同)

社協報ほえみ90号に関するお詫びと訂正について

・区別会費結果の表について羽毛山区が2ヶ所掲載されておりました。

羽毛山 96,000 … 一ヶ所削除

・法人会員

【誤】 信州電気(株) → 【正】 信州電機(株)

お詫びして訂正いたします。

●編集後記

台風19号は長野県にも甚大な被害をもたらしました。東御市社協でも、浸水被害が著しかった長野市赤沼地域に支援に入りました。その活動の中では、住民とボランティアがお互いを労いながら作業を進める姿をよく目にしました。それぞれ立場は違えど、目指す先は同じなのだと感じる瞬間です。
(小野紘彰)